

たてばやし

第195号

市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



9月
定例会

上三林獅子舞(ささら)の奉納

平成28年度館林市歳入歳出決算の認定など 11議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～3ページ
- 決算特別委員会 4～5ページ
- 常任委員会の審査報告 5ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 5～6ページ
- 議会の録画映像配信を始めます 6ページ
- 一般質問（8人） 7～11ページ

本会議のあらまし

平成29年館林市議会第3回定例会は、9月1日から20日までの20日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、諮問1件、報告1件、議案10件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、可決、認定されました。その他、議員提出議案1件の審議が行われました。

人事案件

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

てⅡ人権擁護委員の櫻井博さん(松沼町)の任期が、本年12月31日をもって満了となることから、引き続き推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に対し意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

▽教育委員会委員の任命について

Ⅱ教育委員会委員の谷田川敏幸さん(台宿町)の任期が、本年9月30日をもって満了となることから、引き続き任命したいとして、

条例の改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽館林市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

Ⅱ人事院規則(職員の育児休業等)の一部改正に伴い、「育児休業の再度の取得ができる特別な事情」及び「育児休業期間の再度の延長ができる特別な事情」に、待機児童を要件に加えるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Ⅱ「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令」の施行及び「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(第7次地方分権一括法)」による「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の一部改正に伴い、子どものための教育・保育給付に係る支給認定証の任意交付化に伴う受給資格等の確認手続の見直し等を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Ⅱ介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員としては、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の三職種が配置されなければならないとされているが、そのうち、主任介護支援専門員については、5年ごとの更新研修が導入され、主任介護支援専門員研修の修了した日から起算して5年を超えない期間ごとに主任介護支援専門員更新研修を修了している者に限り、といった主任介護支援専門員の定義を明確化するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

条例の廃止

▽館林市7・27竜巻被災者支援条例を廃止する条例

Ⅱ本条例は、平成21年7月27日に発生した竜巻の被災者の生活再建支援として、住宅等改修費の助成をする被災者支援金の支給及び復旧に要する資金として救済資金の貸付けを行うために制定したもので、被災者支援金の支給事務は平成23年4月に、救済資金の貸付事務は本年2月に、それぞれ完了したことに伴い、本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽市道3364号線の路線認定について

Ⅱ民間の開発行為により加法師町地内に新設された路線を認定しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽岡野幹線排水路整備工事請負契約の締結について

Ⅱ東武鉄道佐野線の南北における岡野町付近の排水問題の解消及び群馬県施行の都市計画道路3・4・7西部一号线立体交差アンダー部のポンプ排水の受入れのために、幹線排水路整備工事(内径2m×高さ1m及び1・8m×1mの扁平断面のボックスカルバートの水路を、173・1m整備)



を施工することに伴い、1億6632万円の工事請負契約を締結しようとするもので、全員一致で可決されました。



岡野幹線排水路

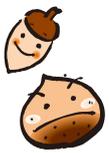
補正予算

▽平成29年度館林市一般会計補正予算(第4号) 1億1765万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ277億7915万7000円とするもので、全員一致で可決されました。
▽平成29年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) 238万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ65億8326万3000円とするもの

で、全員一致で可決されました。

報告

▽平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 地方公共団体の財政の健全化に関する法律において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は4・5%、将来負担比率は92・6%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となつているとの報告がありました。



平成28年度決算

▽平成28年度館林市歳入歳出決算の認定について 一般会計決算の概要は、最終予算額286億3833万6000円に対し、歳入決算額は286億4788万6709円で、予算に対する収入率は100・03%です。また、歳出決算額は267億8215万5958円で、その執行率は93・52%となり、歳入歳出差引残額は18億6573万751円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源943万円を差し引いた実質収支額は18億5630万751円となり、このうち14億円を財政調整基金に、3000万円を職員退職手当基金に積立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む4億3573万751円を、翌年度へ繰り越しました。
特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入99億1387万3748円、歳出97億4622万167

8円。下水道事業特別会計が、歳入18億1072万8277円、歳出16億8791万4103円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5463万8411円、歳出4747万8823円。介護保険特別会計が、歳入59億4720万1864円、歳出57億2898万702円。後期高齢者医療特別会計が、歳入8億4443万円、計が、歳入8億4443万7178円、歳出7億9236万8130円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。
本決算について、日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

議員提出議案

▷市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書(全員一致で可決)

【全文】道路は人々の生活を支え、地方の自立・活性化・生活維持に最も基本的な社会基盤であり、特に市町村道は、地域住民に密接な施設であるとともに、安全・安心の確保のため、必要不可欠な社会基盤でもある。しかし、群馬県内の市町村道の改良率は全国的にも低い状況にあり、依然として地域生活の維持には道路整備が必要不可欠である。

また、平成26年7月道路法施行規則の改正により、橋梁やトンネルなどの点検が義務付けられ、今後は新たに老朽化対策費の増大が見込まれており、計画的な事業進捗を図るためには十分な予算確保が必要となっている。

つきましては、財政状況が厳しい市町村の道路事業を着実に進捗させるため、平成30年度の予算編成にあたり、下記事項を講じるよう強く要望する。

記

- 1 市町村道路整備事業が計画的に進捗できるよう、必要な交付金予算の事業費総額を持続的に確保すること。
- 2 長期安定的に道路整備が進められるよう、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等のかさ上げ措置を平成30年度以降も継続すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 = 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

決算特別委員会

9月4日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、11日から13日までの3日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第52号平成28年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数をもって、原案のとおり認定すべきものと議決されました。

総括

急速な少子高齢化の進展に伴い、労働力人口が減少する一方、社会保障費の増加傾向が継続する状況において、公共施設をはじめ様々な社会資本の老朽化に対応しなければならぬなど、地方財政を取り巻く状況は依然として厳しい状況が続いており、地方自治体には、簡素で効率的な行政システムを構築するなど、質の高い行政サービスを提供することが求められている。

このような状況の中、本市においては、「水と緑と人

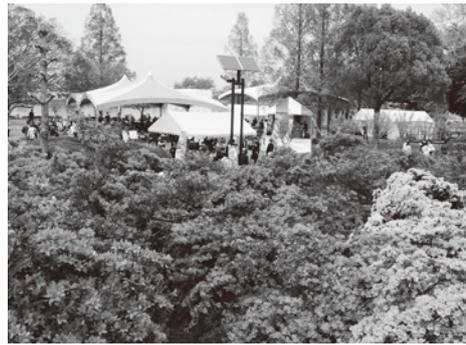
が輝く共創都市たてばやし」を将来のまちの姿とする第五次総合計画後期基本計画の初年度として、財政の健全性に留意しつつ、経済の活性化に係る事業、少子化対策に係る事業、元気な高齢者づくりに係る事業を重点項目に掲げ、市民生活の向上に取り組みとともに、「安心して生活ができるまちづくり」を実現するために様々な施策を実施した。

主な新規事業

○地域子育て支援拠点事業
総合福祉センター内に地域子育て支援センターを開設した。

○放課後児童クラブ施設整備事業
第三小学校区に放課後児童クラブ施設を整備した。

○「つつじサミット 2016 in 館林」の開催



つつじで地域活性化を行っている自治体や団体との交流を深めるとともに、つつじが岡公園のつつじの歴史的文化的価値、その魅力について広く発信した。

○中央通り線道路改良事業
平成28年度から群馬県が整備を進めており、事前調査として現況測量調査等の費用を負担した。

○小学校施設整備事業
第五小学校管理・教室棟トイレ改修工事、第二小

校屋内運動場大規模改修工事設計を実施した。

○中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟東側トイレ改修工事、第二中学校柔剣道場大規模改修工事設計を実施した。

主な継続事業

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、10%のプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

○幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事34.5mを実施した。

○西部一号线道路改良事業

平成22年度から8年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は県事業負担金として、県発注工事等の費用を負担した。

○東部環状線改良事業

(市道3333号線)

平成28年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	歳入歳出		差引残額
		歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	一般会計	28,647,886,709	26,782,155,958	1,865,730,751
	国民健康保険	9,913,873,748	9,746,221,678	167,652,070
	下水道事業	1,810,728,277	1,687,914,103	122,814,174
	農業集落排水事業	54,638,411	47,478,823	7,159,588
	介護保険	5,947,201,864	5,728,980,702	218,221,162
	後期高齢者医療	844,437,178	792,368,130	52,069,048

平成21年度から9年継続事業として整備を進めているが、本年度は道路改良工事840m等を実施した。

○土地区画整理事業

(西部第一南地区)
昭和61年度から33年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一

線舗装工事を193・8m、2戸2棟の建物移転等を実施した。

○土地区画整理事業
(西部第一中地区)

平成元年度から37か年継続事業として整備を進めているが、本年度は駅西通り線舗装工事を214・7m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

○土地区画整理事業
(西部第二地区)

平成11年度から26か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を787・7m、4戸5棟の建物移転等を実施した。

○公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1701・1m、雨水きよ40・9mの布設、処理場整備として、施設工事委託を実施した。



常任委員会の審査報告

総務文教

館林市第一資料館の現地視察を実施しました。



第一資料館の現地視察

市民福祉

付託された案件は、館林地域域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の議案1件で、委員からは、主任介護支援専門員の定義内容についての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、保健福祉部より、合同金婚式の記念品について

常任委員会の審査報告

て、館林市子どもの生活実態調査の結果について(最終報告)、国民健康保険制度改革の概要についての報告を受けました。

経済建設

付託された案件は、市道3364号線の路線認定について及び岡野幹線排水路整備工事請負契約の締結についての議案2件で、審査対象となった道路及び排水路工事の現地調査を行った後に審査に入り、2議案とも、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。



市道の路線認定の現地調査

議員個人の賛否結果一覧表

【○：賛成 ●：反対】

議案等名	議席番号																				結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	権田昌弘	櫻井正廣	渋谷理津子	斉藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	(欠員)	(欠員)	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	(欠員)	井野口勝則	小林信	町井猛	
諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	推薦につき同意
議案第45号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	同意
議案第46号 館林市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	原案可決
議案第47号 館林市7.27竜巻被災者支援条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	原案可決
議案第48号 館林市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	原案可決
議案第49号 館林市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—	○		○	○	○	原案可決

議案等名	議席番号	議員名																			結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		20
議案第50号	市道3364号線の路線認定について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	岡野幹線排水路整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	平成28年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第53号	平成29年度館林市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	平成29年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※河野哲雄議長は採決に加わりませんので、「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

議会の録画映像配信を始めます!

館林市議会では「開かれた議会」を目指し、12月定例会から本会議の録画配信を始めます。録画映像は、本会議閉会后、おおむね7日後(土曜日・日曜日及び国民の祝日を除く)から配信を行いますので、ご覧ください。

① トップページを開く
館林市ホームページ内「館林市議会」トップページを開きます

② ここをクリック!
「録画映像配信」をクリックします

③ 議会中継の画面が開く
項目を選んでご覧ください。



項目を選んで
ご覧ください。

市政を問う !!

9月5日	齊藤貢一議員 (8ページ) ○社会保障制度に対する当市の現状と今後について
	向井 誠議員 (8ページ) ○マイナンバーカードと自治体クラウドについて ○防災拠点へのWi-Fi普及について ○要介護度の改善・維持に向けた取組について
	権田昌弘議員 (9ページ) ○本市の行政サービス等について
	渋谷理津子議員 (9ページ) ○つつじが岡パークインの平成30年度の利用再開に向けた取組について ○防災体制について
9月6日	渡辺充徳議員 (10ページ) ○立地適正化計画にかかる土地利用について
	篠木正明議員 (10ページ) ○国民健康保険について
	吉野高史議員 (11ページ) ○環境保全と安全対策について ○教育施設の現状と今後について
	小林 信議員 (11ページ) ○林間学校廃止に伴う代替としての城沼の利活用及びパークインの再開について

今定例会における一般質問は、9月5日・6日の2日間にわたり行われ、8人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

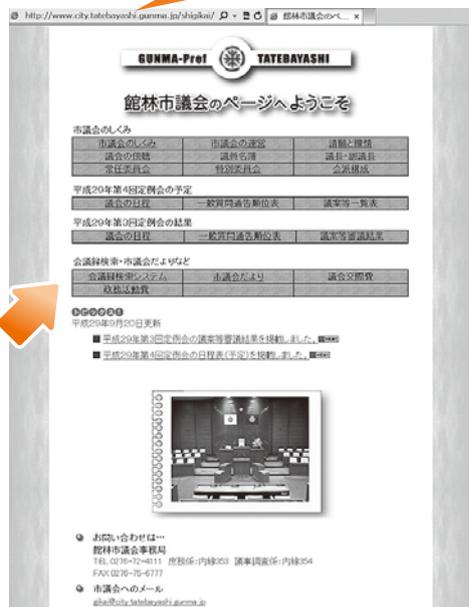
内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

一般質問

※一般質問通告書の質問事項を掲載

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/shigikai/>



館林市議会

館林市議会ホームページから
会議録をご覧ください。

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は
会議録をご覧ください。



本市の行政サービス等について

権田 昌弘 議員

質問 子どもの生活実態調査の最終報告を受け、どのような対策をお考えなのか。

答 子どもの学習面における支援や生活習慣・環境における支援、保護者が安心して生活するための支援体制や就労・経済的支援体制の充実に取り組みます。

質問 義務教育期間の負担

答 軽減などを進める考えは。地域住民や関係団体、企業等と連携しながら、子育てを社会全体で支えあつていく施策に取り組んでまいりたいと考えております。

質問 つつじが岡公園内バーベキュー場の利用状況は。

答 7月が46人、8月が171人利用しています。

パークインの利用再開と防災体制について

渋谷理津子 議員

質問 パークインの来年度の利用再開に向けて、どのように進捗していますか。

答 指定管理以外の方法も検討しながら、平成30年度中にできるだけ早期に再開する目標で進めております。

質問 市長は、パークインがどうあるべきと考えますか。

答 パークインは宿泊数

が落ち込み、閉鎖も考えましたが、存続、再建を望む市民の声が非常に大きく、再建という選択肢をとることになりました。「健康」というキーワードで地域資源を生かし、地元の食材や医療機関と連携し、新しい形の滞在型観光が創出できるのではないかと考えます。

質問 公園の今後の展開には、どのような考えがあるか。

答 もみじの岡の芝滑り場の開設、簡易遊具の設置、大芝生広場をイベント会場として利用、トイレの洋式化工事等を進めております。

質問 つつじが岡パークインの今後のスケジュールは。

答 平成30年度には事業者を決定し、早期に再開できるように努めてまいります。

質問 アダプト制度を導入する考えは。

答 公共スペースの維持

質問 災害に強いまちとはどのようなまちと考えますか。

答 地域防災計画において、市と関係機関が連携した体制づくりを推進しており、避難所となる小・中学校等の耐震化も完了しております。また、河川については、堤防の整備やライブカメラの設置等、国・県の管理者と速やかな対策をとれる連絡体制を確保しているところとです。

質問 市民が自ら身を守るための自主防災組織等の活

管理費用を抑えながら、住民の美化意識の向上にもつながる効果が見込まれるため、検討してまいります。

質問 市民課窓口において、番号案内表示システムを導入する考えは。

答 個人情報保護という意識が浸透しており、今後、本市にふさわしいシステムの導入を検討してまいります。

質問 各窓口においても、市民の皆様はお客様であり、しっかりとしたサービスを提供してあげなければなりません。

ませんが、どのような考えがあるのか。

答 滞りなく迅速に対応し、訪れる方の満足度を少しでも上げられるよう、現場での指導や接遇研修を通して鋭意取り組みます。

質問 マイナンバーカードの普及率向上に向け、コンビニエンスストアや民間企業との連携について、どのような対策をお考えなのか。

答 本市としても導入時期を含め、導入経費等について研究・検討してまいります。

部に防災の研修室や煙体験施設を検討していきます。

危機対応能力を高めるため、市役所内部での図上演習訓練、広報紙に出水期の心得を特集し、市民へは洪水タイムラインを配布、公民館を拠点とした地区防災計画づくり、排水機場の検証と排水門の新設要望、民間事業者との防災協定締結の5つの取組を行っており、今後とも市民と関係機関と力を合わせ、積極的に取り組んでまいります。

立地適正化計画にかかる 土地利用について問う

渡辺 充徳 議員

立地適正化計画について

質問 本市が策定を予定している立地適正化計画についてお尋ねします。

答 立地適正化計画は、人口減少と高齢化社会への対応、公共施設の管理のための財政負担の軽減などの観点から、都市を集約化するため、市街化区域の中に

居住誘導区域、その内側に都市機能として、医療や福祉、商業施設などを誘導する区域を定めています。

今年度は、都市機能誘導区域の設定と誘導施策について検討を行っています。策定の効果について

質問 立地適正化計画策定の効果についてお尋ねします。

す。

答 策定した場合には、国からの各種支援、補助メニュー等が受けられます。仮に策定しない場合には、それらは受けられず、財政優遇を失うこととなります。

また、郊外部への開発に歯止めがかからない状況となり、公共施設の維持管理費等が増大し、持続可能なまちに向けた市民の暮らしの維持や行政運営が困難になることが想定されます。
市街化調整区域について

質問 市街化調整区域における開発需要などにどのように対応するのか。

住民の合意に基づいて、それぞれの特性にふさわしいまちづくりを誘導するための地区計画があります。例えば、商業施設のある楠地区、工業施設のある谷田川地区、防災拠点施設予定の赤生田地区などが、市街化調整区域にあります。総合計画では、それらを増やす方向と思いますが、立地適正化計画と相反しないか、

どのように対応するのかお尋ねします。

答 コンパクトシティーを目指すとともに、既に開発の進められた郊外や既存集落を日常生活圏として維持すべく、土地利用を地域住民の方々と合意形成を図りながら進めてまいります。
住民ニーズの把握を

要望 土地利用について、インターチェンジ周辺整備、スマートインターチェンジ整備等、各地域の住民意見の把握や反映を要望します。

国民健康保険について

篠木 正明 議員

質問 国民健康保険制度の構造的な問題はありますか。

答 国民健康保険の問題の主なもの、低所得者加入者が多いこと、年齢構成が高いこと、小規模な保険者が多いことの3点があげられます。

質問 問題点として3つあげられましたが、厚労省の

資料では、それに加えて保険料負担が重い、保険料の収納率の低下などの問題点もあげています。所得に対する保険料負担率は、国保は組合健保の倍ぐらいになっています。それが保険料の収納率の低下の要因になっているのではないかと思

います。国民健康保険制度

の問題解決の一つの方策として、都道府県単位の広域化があると思いますが、広域化によって国民健康保険制度はどう変わるのですか。

答 広域化で都道府県は財政運営の責任主体となり、制度の安定化を図っていくとされています。市町村は資格管理、保険給付、保健事業、保険料率の決定、賦課徴収などを引き続き行うこととなります。

質問 新聞に「国保9市町村『上がる』都道府県移管

で予想」という記事がありました。本来なら国民健康保険制度の問題点を解消する上で、保険料は下がるべきだと思いますが、広域化で上がると予想している市町村があるということですが、国庫負担の削減を80年代から行われてきたことが、財政的な不安定さをつくり、保険料が上がっていった一つの要因だと思えます。ですから国の負担を増やすことを求めるとともに、加入者が払えるかどうかという

視点が国保税を決める上で必要です。今まで赤字分を法定外繰入れでやってきましたが、法定外繰入れの基準を決めた中で国保税を決めていくことについては、どう考えていますか。
答 現在は赤字分だけ補填していますが、国保の抱えている構造的な問題を解決するためには、従来程度の額を繰入れて国保財政を安定させることも一つの選択肢として検討しなければならぬと考えています。

環境保全と安全対策について 教育施設の現状と今後について

吉野 高史 議員

質問 自然豊かな本市にあつて、赤羽地区の溶融スラッグの埋め立てに関して、一部の地権者が何を埋め立て、何に使われるのかわからない業者に土地を売却したと聞いており、その地権者に対して、あそこのあの爺さんが環境を無視した無責任な行為をしたなどと、子々

答 スラッグの性状等、県による製造元への報告の徴収や立入検査が実施されており、今後も引き続き県や関係各課と連携しながら安全確保に努めてまいります。

質問 沼地のような場所に

溶融スラッグを埋め立て、長期間水中のようなところにあるため、鉄鋼スラッグのような発がん性の強い六価クロム等の溶融はどうなのか。

答 JIS規格の品質設定あるいは現状の含有量データからも、長期的な安全性は確保されると考えます。

質問 埋立地に盛り土をしているが、一体何の目的のために、どんな工事をいつまで続けるのか。

答 第一期工事として、溶融スラッグ及び土砂による埋め立て及び盛り土工事を本年十月末まで、第二期工事は西側へ埋立区域の拡大を来年末まで計画し、盛り土は、その際の埋め立て資材に使用し、最終的な土地利用は、中古車販売のための展示場と聞いています。

質問 溶融スラッグの埋め立てに関して、近隣住民の心配や不安の解消に努めなければならぬが、どう考えているのか。

答 条例上、行政としては限られた指導しかできませんが、今後、少しでも赤字を減らすアイデアは。

質問 教育施設の収入に対し、経費等の支出は、文化会館で約5倍、芸術ホールでは約4倍、田山花袋記念文学館では約30倍、子ども科学館では約8倍となっているが、今後、少しでも赤字を減らすアイデアは。

答 インターネット等を用いて、新たな利用者獲得に向けた周知活動を進めます。

城沼の利活用と パークインの再開について

小林 信 議員

身近な城沼の利活用は

質問 校舎の老朽化等により、東毛林間学校が廃止することになりました。代替案が検討されているが、身近な自然である城沼を利活用できないかお尋ねします。

城沼では館林女子高が練習し、インターハイや国体で活躍しているほか、関東

ブロックのボート競技国体予選大会や全日本マスターズレガッタ大会が行われました。さらに、群馬県の拠点スポーツ施設の指定を受け、群馬県内で開催されるボート競技の関東大会や全国大会は館林市で開催することになっていることから、十分に活用することができ

るのではないのでしょうか。

また、城沼北岸のハスが古代ハスと同品種であると報道され、自然学習の場としての活用が望まれるが、どのように考えていますか。

城沼周辺での自然学習

答 カッター訓練を行うには、城沼は水深が浅くやや難しいと思われます。城沼を利活用する今後の取り組みは、館林市からアトラクタオリピックで活躍した赤城選手や世界ジュニア選手権で活躍した栗原選手、瀧本選手などを輩出しておりますことから、小中学生対象のボート教室の開催など、将来の選手育成を図ることができると考えます。

また、城沼周辺での自然学習は、館林市の良さを感ずることができると思います。新たな利用客の増加を

質問 パークインは観光施設として継続していくとの結論に達したということですが、魅力ある施設にしていかなければなりません。ボイラーの老朽化等が挙げられておりますが、太陽光を活用してお湯を沸かし、足湯やサウナを設けることにより、新たな利用客を増やすことができるのではないのでしょうか。

今後魅力ある要素を

答 今後、意見交換会などでご意見をいただきながら、メリット、デメリットを精査し、魅力ある要素をどうするかを含め、取り入れられるものは取り入れていきたいと思います。



議 会 を 傍 聴

し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はどなたでも傍聴することができます。議会では皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。傍聴手続きは、議会棟の3階又は4階に備え付けの用紙に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。



【12月定例会の予定】

- 12月 1日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 4日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 5日(火)・6日(水) 本会議＝一般質問
- 7日(木)・8日(金) 委員会＝常任委員会
- 14日(木) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等に変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、11月29日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

☆12月定例会の録画映像を、12月25日(月)頃から市のホームページで配信する予定です。

(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒市議会をクリックしてお入りください。)